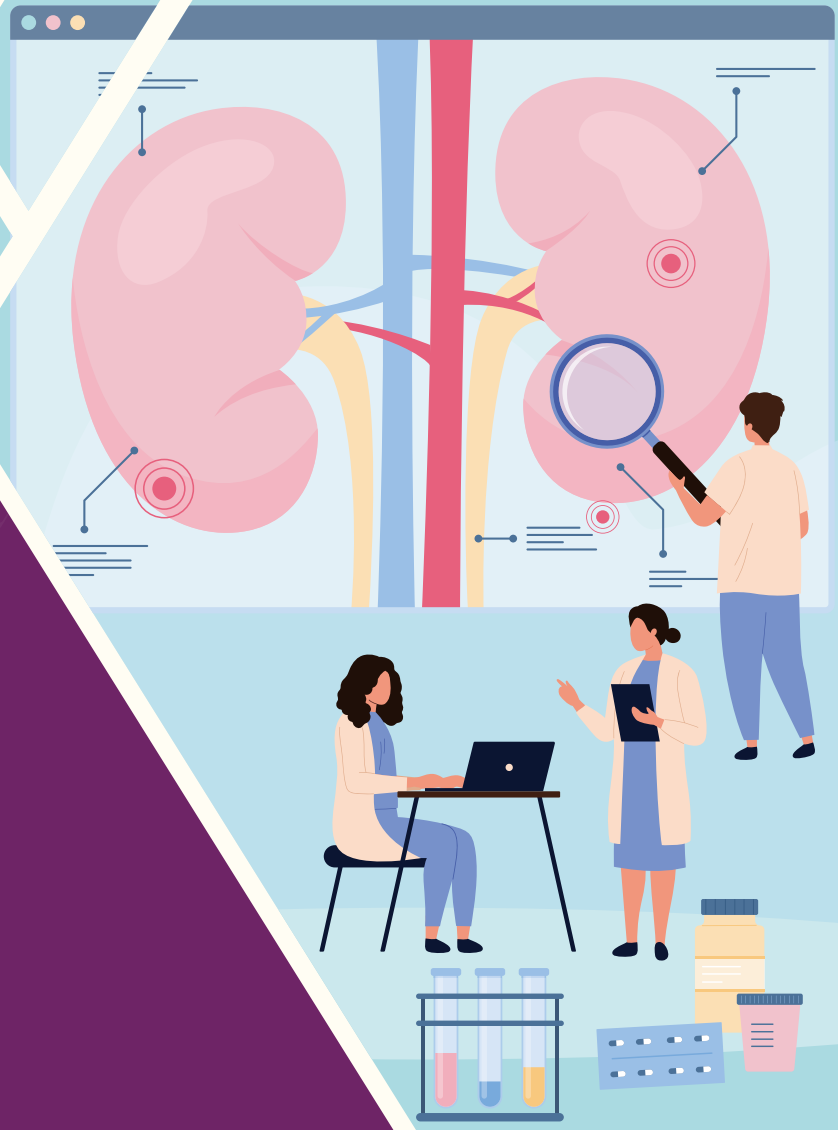
第16回透析運動療法研究会
ランチョンセミナー2（LS2）

Vantive



高齢者における栄養維持を考慮した透析療法

2026年 2月8日(日)
11:45-12:45

第2会場
鎌倉プリンスホテル バンケットホール七里ヶ浜 II

司会
峰島 三千男先生
順天堂大学医療科学部 臨床工学科

演者
平山 智也先生
日本赤十字社旭川赤十字病院 総合診療科

ホームページ
https://www.m-toyou.com/etdp16/

共催：第16回透析運動療法研究会 / 株式会社ヴァンティブ
問い合わせ先：株式会社ヴァンティブ　〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー 30階　TEL：(080)9433-4922　担当：中島

JP-RC61-250123 01/2026

高齢者における栄養維持を考慮した透析療法

演者
平山 智也先生
日本赤十字社旭川赤十字病院 総合診療科

透析患者の高齢化は進行しており維持透析患者の過半数は平均年齢が70歳を超えるようになった。透析患者の高齢化に伴いサルコペニア、フレイル患者の増加が、臨床現場において非常に大きな問題となってきている。

透析患者においては高齢化に加えて、尿毒症環境や酸化ストレス、慢性炎症の存在と血管石灰化や内皮機能障害などの動脈硬化の進展、心機能の障害などに対しての配慮が要求される。

極端な食事制限や、運動耐容能の低下がこれに加わると、心血管合併症や入院回数の増加、生命予後の悪化に繋がっていく。

このような背景における高齢者の透析療法においては、透析中の栄養維持を考慮した透析処方が、極めて重要である。加えて、運動療法に関連して、BCAA（分子鎖アミノ酸）の除去率の低減をはかるために積層型ダイアライザーを選択することも戦略のひとつとなる。

高齢者における栄養維持を考慮した透析療法はどうあるべきか、参加される皆様と一緒に考えたい。